

中央アジア地域の留学生受入強化と教育・研究充実に向けた国際シンポジウム  
プログラム

1 日目：7月15日

9:15-	<p>開会式 (司会 小野正樹)</p> <p>会場校挨拶 筑波大学国際担当副学長 塩尻 和子</p> <p>来賓紹介</p>
9:30-11:10	<p>研究発表 1 口頭発表 (4名 発表 15分 質疑 10分)</p> <p>(司会 一二三朋子)</p> <p>1) 日本語教育 1 「ウズベキスタンの日本語学習者の辞書使用の特徴に関する考察」 Muradova Ella (人文社会科学研究科 国際日本研究専攻大学院生)</p> <p>2) 教育 1 「カザフスタンの言語政策-理念と現実-」 Kuanysh Tastanbekova (人間総合研究科 大学院生)</p> <p>3) 教育 2 「カザフスタンにおける大学入試制度の現状と課題-教育的視点に着目して-」 Demezhan Adlet (人間総合研究科 博士課程教育基礎学専攻 大学院生)</p> <p>4) 言語政策 1 「ソ連解体後のクルグズ共和国における言語政策に関する一考察-コーパス計画の観点から-」 小田桐奈美 (人文社会科学研究科 文芸・言語専攻 大学院生)</p>
11:10-11:30	<p>講演 中央アジア地域に対する JICA の取り組み</p> <p>三島健史 (独立行政法人国際協力機構 東・中央アジア部 中央アジア・コーカサス課)</p>
11:30-13:00	<p>昼食休憩</p>
13:00-13:30	<p>大学紹介 (司会 白山利信)</p> <p>13:00-13:15 カザフ国立大学 (カザフスタン)</p> <p>Temirbekov Nurlan Mukhanovich (研究担当副学長)</p> <p>13:15-13:30 タシケント国立東洋学大学 (ウズベキスタン)</p> <p>KIM Natalya (日本語講座長)</p>
13:30-15:30	<p>専攻紹介 (司会 鈴木伸隆)</p> <p>13:30-13:45 人文社会研究科 国際地域研究専攻</p> <p>DADABAEV Timur</p> <p>13:50-14:10 人間総合科学研究科 世界遺産専攻</p> <p>稲葉信子</p>

	<p>14:15-14:30 生命環境科学研究科 持続環境学専攻 辻村真貴</p> <p>14:35-14:50 数理物質科学研究科物性・分子工学専攻 学際物質科学研究センター 池田豊</p> <p>14:55-15:10 システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻 北川博之</p> <p>15:15-15:30 北アフリカ研究センターの取り組み 森尾貴広</p>
15:45 -18:00	<p>留学生教育に関するラウンドテーブル (司会 小野正樹) (司会 一二三朋子:筑波大学)</p> <p>1) 日本語の伸びをどう捉えるか 話題提供者: 近藤行人 (前タシケント国立法科大学名古屋大学日本法教育研究センター、 Borankulova Samal (カザフ国立大学)</p> <p>2) 授業において教師はどのような役割を果たすのか 話題提供者: 衣川隆生 (名古屋大学)、Shorina Dariyagu (カザフ国立大学) (司会 鈴木伸隆:筑波大学)</p> <p>3) 日本語専攻・日本語講座が目指す専門性とは何か 話題提供者: 名嶋義直 (東北大学)、Borankulova Samal (カザフ国立大学)</p> <p>4) 研究能力とは何か 話題提供者: 沼田善子 (筑波大学)、Shorina Dariyagul (カザフ国立大学)</p>
18:30	懇親会 (筑波大学内 スープファクトリー)

2日目：16日（金）

9:00 -11:25	<p>研究発表3（司会 一二三朋子）</p> <p>口頭発表（5名 発表15分 質疑10分）</p> <p>1）言語政策2「カザフスタン共和国アスタナ市における社会言語学的調査（第2回）の実施報告」白山利信（人文社会科学研究所 文芸・言語専攻）</p> <p>2）日本語教育2「外国人ビジネスマンのクレーム対応場面に対する日本人の評価意識」Nazirov Doniyor（人文社会科学研究所 国際地域研究専攻大学院生）</p> <p>3）言語学1 「旧ソ連諸国における民族言語維持と宗教の役割について」田中孝史（人文社会科学研究所 非常勤研究員）</p> <p>4）日本語教育3「カザフスタン外国語大学の日本語教育スタンダードについて」Assel Bekebassova（人文社会科学研究所 国際地域研究専攻大学院生）</p> <p>5）日本語教育4 「依頼・断りでの会話における「説得」のコミュニケーションストラテジー- ビジネス敬語表現の使用とコミュニケーションの関係を中心に-」Khalmurzaeva Nadira（タシケント国立東洋学大学博士課程在籍者・早稲田大学外国人研究員）</p>
11:45 12:45	<p>総括 閉会式（司会 小野正樹）</p>